

製品・サービス動向-国内

■岩崎通信機：アプリ不要で簡単かつセキュリティレベルの高い Web 会議システム「Waaarp (ワープ)」の提供を開始、カスタマイズにも対応

(6月17日)

岩崎通信機株式会社(<https://www.iwatsu.co.jp/>) (東京都杉並区)は、7月1日より、簡単かつセキュリティレベルの高い Web 会議システム「Waaarp (ワープ)」の無償提供を開始する。

Waaarp は、無償 Web 会議として評価の高い「BIZMEE (ビズミー)」を提供している株式会社 grabss(グラブズ社)と、ユーザエクスペリエンスの知見を有する株式会社フライング・ペンギンズとの共同開発サービス。岩崎通信機が提示するコンセプトと要求仕様を基にフライング・ペンギンズが全体デザインを担い、WebRTC 技術を保有するグラブズ社が開発を担当して作り上げた。アプリ不要で今すぐ使える、シンプルなユーザーインターフェイス、優れたセキュリティと便利な機能が特徴。

利用方法は至って簡単。まずは、Waaarp サイトへアクセスし、「メールアドレス」と「氏名」を登録。そして会議室名と任意の半角英数文字を入力し、「入室」ボタンを押す。会議に参加する人が上記と同じ操作で入室すると参加者同士でビデオ会議が行える。

セキュリティの面では、Waaarp は、全員入室し会議が始まると、パスワードを設定して会議室に鍵をかけることができるようになっている。加えて、Waaarp サーバには会議の映像や音声を蓄積しないため、会議後に映像や音声データが流出する心配がない。また、会議中は、SSL 通信方式により端末～サーバ間の通信

を暗号化することで盗聴や改ざんを防止している。

機能の面では、画面共有、発言者優先表示、チャット機能といった機能を提供しており、ピクトグラムボタンによるシンプルなユーザーインターフェイスにより、直感的に操作できるようになっている。操作に不慣れな人にはヘルプボタンで説明を表示する仕組みもある。

なお、7月1日から9月30日まで無償提供を行う。その後無償提供終了後は、自社専用画面や独自ドメイン、予約システムとの連携、録画などの機能追加などのカスタマイズに対応する予定。

Waaarp は、テレワークによる働き方にマッチした「Web 会議システム+α」の統合プラットフォームへの成長を目指す。孤独感やコミュニケーション不足による非効率など、急な在宅ワークなどで顕在化した新たな課題を解決に導くプラットフォームとして日本企業ならではのテレワークの実現を支援していくとしている。

■ソニービズネットワークス：法人向け ICT ソリューションサービス「NURO クラウド Zoom」の提供開始

(6月17日)

ソニービズネットワークス株式会社(<https://sonybn.co.jp/>) (東京都渋谷区)は、法人向け ICT ソリューションサービス「NURO クラウド Zoom」の提供を6月17日より開始する。

NURO クラウド Zoom は、同社が Zoom ビデオコミュニケーションプラットフォームをサービスとして

提供するもの。

提供するプランは、「Zoom Meetings Pro」(5~9 ライセンス・接続デバイス数 100 台)、「Zoom Meetings Business」(10~49 ライセンス・接続デバイス数 300 台)、「Zoom Meetings Pro」(50~ライセンス・接続デバイス数 500 台)。録画は利用可能だがプランにより容量制限がある。管理用ダッシュボードは Zoom Meetings Business と Zoom Meetings Pro のみ。なお、オプションにより、いずれのプランも接続デバイス数は 1000 台まで利用可能。

料金(年額/ライセンス、税抜き)は、Zoom Meetings Pro が 24,000 円、Zoom Meetings Business が 32,400 円、Zoom Meetings Pro が 38,400 円となっている。

オプションサービスとして、「Zoom Rooms」「H.323 ルームコネクタ」「Zoom Video Webinar 100」「Zoom Video Webinar 500」「Zoom Video 1000」を用意している。

NURO Biz は、超高速インターネット接続サービス「NURO アクセス」をはじめとした各種通信サービスとネットワークセキュリティ対策で、クラウド時代に必要なネットワークインフラを提供している。さらに本サービスをはじめとしたクラウドサービスの提供を通じて企業活動に関わる全ての IT をトータルにサポートする。

ソニービズネットワークスは、ソニーグループのソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社出資の下、法人向け ICT ソリューション「NURO Biz」を提供する会社として発足。そして、2019 年 7 月よりソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社の法人向けクラウド・ネットワークサービス事業を統合し、ネットワークからクラウドまで幅広い領域で事業を展開している。

■TeamViewer ジャパン：「TeamViewer」の導入パッケージ「テレワーク+ (プラス)」を発売、初級者から IT 技術者まで活用できる機能を網羅

(PRTIMES：6 月 16 日)

TeamViewer ジャパン株式会社 (<https://www.teamviewer.com/ja/>) (東京都千代田区) は、職場におけるあらゆる業務をデジタル化によって支援する「TeamViewer」の導入パッケージ「テレワーク+ (プラス)」を 6 月 16 日より発売する。

新型コロナウイルス感染拡大を受けてテレワークを導入した企業は増えているが、国内においては大企業ほど導入率が高く、一方、中小企業ではまだ IT 環境整備が追いついていない状況でどこから始めていいのかわからないという問い合わせが増えているという。まさしくそうした企業がデジタル化の第一歩を踏み出す時に活用できるソリューションとなっている。

テレワーク+に含まれる 4 つの機能は以下の通り。

(1) 端末の遠隔操作：外部に持ち出すことの出来ない職場の PC に自宅から接続して操作することができる。

(2) ウェブ会議：ビデオまたは音声のみの通話、インスタントメッセージング、画面共有などが可能。ビデオ通話、画面共有、VoIP 接続はエンドツーエンドで暗号化されるためセキュリティ面でも安心という。

(3) グループチャット：社内メンバーの自由なグループでチャットできる。隣の席の人にちょっとした確認をしていたことが、テレワーク時にはこの機能で行うことができる。

(4) IT サポート・管理：在宅勤務中に従業員の PC をはじめとする端末の不具合などがあった場合に、IT スタッフが遠隔でサポートできるもの。IT 管理者はシステム監視・管理・パッチ適用などのワークフローができる。加えてテレワ

クしている従業員の遠隔操作ログを残すことも可能で、

労務管理の一助になるとしている。

端末の遠隔操作、ウェブ会議主催者、ウェブ会議主催者、グループチャット、リモートモニタリング・アセット管理、社内 IT リモート管理権限（1アカウント）を 25 名・25 デバイスで使用するパッケージ例だと月額 64,500 円/月（税抜き）。

低価格でありながら、デジタル環境を整えるために必要な機能が包括的に備わっているパッケージ。あらゆる規模の企業に対応可能という。

■サイバーリンク：「U ビジネスコミュニケーションサービス」Ver.6.0 をリリース、Web 会議中のブレイクアウトルーム（グループ分割）が可能に

（6月23日）

サイバーリンク社（<https://jp.cyberlink.com/>）（台湾新北市）は、Web 会議サービス/オンラインセミナーサービス/ビジネスチャットの「U ビジネスコミュニケーションサービス」最新版 Ver6.0 を発表した。



ブレイクアウトルーム（サイバーリンク）

Ver6.0 では、Web 会議中に、個別のディスカッションのためのグループ分割機能「ブレイクアウトルーム」を作成することができる。また iOS/Android 環境下においても、PC/Mac の会議ホストが設定したブレイクアウトルームに参加することができる。どのルームに参加するかも選択できるようになっている。

また、ホスト権限を新たに追加した。ホストのみが

「参加者の削除」と「ブレイクアウトルームの作成」が可能となっている。ブレイクアウトルームは、作成するルームの数や開催時間を設定することができる。

その他の機能追加としては以下の通り。

U セミナー：（1）PDF ファイルのインポートに対応（Win/Mac 共通）。また Mac 版にて新たに PPT ファイルのインポートに対応した。

U ミーティング：（1）U の設定にて、マイクとスピーカーデバイスの選択、テストを行うためのダイアログを呼び出せる。（Windows/Mac）（2）デスクトップ・アプリケーション・ホワイトボード共有をアイコンベースで分かりやすいユーザーインターフェイスにした。（3）会議においてカメラをオフにした際に、参加者の名前を表示できるようになった。

■サンワサプライ：テレビ会議に必要な機器をまとめて収納できるディスプレイスタンド「CR-PL39BK」

（6月17日）

サンワサプライ株式会社（<http://sanwa.jp/>）（岡山市北区）は、テレビ会議に必要な機器をまとめて収納できるディスプレイスタンド「CR-PL39BK」を発売した。

CR-PL39BK は、32～65 型までのテレビ・ディスプレイに対応した、高さ調整可能なディスプレイスタンド。会議室などテレビ会議を行う頻度が高い場所での活用が最適な製品。

Web カメラをディスプレイ上部に設置できるカメラ台、スピーカーなどの周辺機器を設置できる棚板を標準装備。Web カメラやスピーカーを常時設置しておけばセッティングに手間をかけずにテレビ会議を始められる。

また、HDD レコーダーやスピーカーなどを補完できるボックス、リモコンやマイクなどの小物が収納できる引出しを備えている。テレビ会議やプレゼンター

ションなどに必要な機器を大きさに合わせてまとめて収納できるようになっている。



CR-PL39BK(サンワサプライ)

本体裏面には、ケーブルフックが2カ所ついており、ノートパソコンからディスプレイに出力させるためのHDMIケーブルやLANケーブルなど、長めのケーブルを保管する場合に最適となっている。



使用例 (サンワサプライ)

ディスプレイは高さを3段階調節でき、上下に角度を変更することができるため、画面を見やすい位置へ調節することができる。加えて、カメラ台も設置したディスプレイの高さに合わせて4段階の高さに調節することも可能となっている。

VESA マウント規格にも対応しており 200x200～600x400mm まで幅広く、各社 65 型までのテレビ・ディスプレイを取り付けることができる。

標準価格は、198,000 円 (税抜き)。

ビジネス動向-国内

■Poly：「Poly Studio X ファミリー」と「Poly G7500」が業界初 Zoom Rooms 認定を取得

(PRTIME：6月18日)

Poly (<https://www.poly.com/jp/ja>) (Plantronics とポリコムの子会社) は、同社が提供するビデオ バー「Poly Studio X30」「Poly Studio X50」とビデオ会議システム「Poly G7500」が Zoom 認定を取得し、業界で初め「Zoom Room」対応機器になったことを発表した。

Poly Studio X30、Poly Studio X50、Poly G7500 は、Zoom Room の機能をネイティブで提供する初の Android 対応機器。「Zoom Device Management」からコントロールすることが可能。また Zoom の音声および映像品質基準に適合しており、特別な設定をすることなく、そのまま簡単に利用することができるようになっている。

Poly Studio X ファミリーと Poly G7500 は高精度な話者および会話の追跡、「NoiseBlock AI」、「Acoustic Fence」技術をはじめとした Poly の技術を Zoom Room 環境に統合することで、周りの騒音などを遮断できる。加えて、OS の強化、安全な更新プログラムの配信、サードパーティによるセキュリティ脆弱性診断の実施など、セキュリティを考慮して開発されている。

Poly は、「Zoom Rooms」、「Zoom Meetings」、「Zoom Phone」対応のビデオ・音声・ヘッドセットソリューションを開発している唯一の企業という。今回の認定により、両社は、職場の生産性を上げるための Zoom 統合型ハードウェアやソフトウェアソリューションを選ぶ際に、IT 責任者が重視する柔軟性を最優先に、使いやすく、シームレスな接続を実現する通信ソリューションの製品ラインナップを拡充したことになる。

なお、今回 Zoom Rooms 対応機器に認定された Poly

Studio X30、Poly Studio X5 および Poly G7500 は、日本の正規販売店や代理店から購入が可能となっている。

■ブイキューブ：オンライン営業専用の Web 会議サービス「V-CUBE セールスプラス」が Salesforce との連携

(6月18日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、オンライン営業専用の Web 会議サービス「V-CUBE セールスプラス」と、株式会社セールスフォース・ドットコム (<https://www.salesforce.com/jp/>) (東京都千代田区) が提供する Salesforce との連携機能「V-CUBE SalesPlus for Salesforce」を 6月18日より提供を開始する。

V-CUBE セールスプラスは、ウィズコロナ時代の営業の働き方改革を実現する営業専用の Web 会議サービス。

1クリックでお客様入室画面を誘導でき、映像と資料共有を組み合わせたオンラインでの商談を実施できる。また、商談メモや商談結果判定(成功・進展・継続・失敗)といった活動記録に加えて、顧客からの商談の評価やメッセージも記録することが可能で、商談の可視化につながると評価されている。

ただ一方で、顧客よりオンライン営業の活動履歴が V-CUBE と Salesforce に分散しているため、データの一元化をしてほしいという要望があったという。

Salesforce との連携により、V-CUBE セールスプラスを起動し、そのままオンライン商談を開始することが可能になった。加えて、商談中のメモ、商談後の商談結果判定といった営業活動データと、顧客からの評価・メッセージを 1クリックで自動的に Salesforce の活動履歴に登録することが可能になった。

これにより、営業担当者の業務効率化だけでなく、蓄積されたデータの分析・活用により、営業業務全体

の見える化が可能になる。さらには、営業組織管理者はオンライン商談がどれくらい開催されているのか、どんな結果の商談が多いのか、どんな評価を受けることが多いのか、といったデータ分析・営業活動の改善を行えるようになる。

Salesforceに埋め込まれた「V-CUBE セールスプラス」から入室



商談終了後、「V-CUBE セールスプラス」の商談記録が Salesforceの活動履歴を自動作成



Salesforce 連携 (ブイキューブ)

V-CUBE SalesPlus for Salesforce は、2020年9月末までは無料で利用できる。両サービスを契約している顧客は、セールスフォース・ドットコムが公開・提供している app exchange よりアプリケーションをインストールし、マニュアルに従って設定・利用開始できる。

今後も、管理機能の強化を進めていながら、ユーザーから要望の多い管理者による「ファイル転送の ON/OFF 制限機能」、「商談資料の承認・共有機能」、独自ダッシュボードによる、商談の階数・結果・顧客評価の表示機能を 2020 年内に実装していくという。

ビジネス動向-海外

■Aver Information 社：Microsoft 社の認定を取得した、ビデオコラボレーションソリューションを発表

(6月9日)

Aver Information 社 (<https://jp.aver.com/>) (台湾、日本法人：アバー・インフォメーション株式会社) は、同社が開発・提供する Web カメラにおいて、Microsoft 社の「Microsoft Teams」認定デバイスパートナーとなったことを発表。



Microsoft Teams 認定を受けた Aver 社 Web カメラ (Aver Information 社)

Microsoft Teams の認定を取得した製品は、「CAM540」と「CAM520 Pro」。Aver 社の Web カメラは、優れたデザインと高品質な映像・音声の他、パン・チルト・ズーム機能、SmartFrame 機能、TrueWDR (逆光補正機能)、Web ブラウザからの管理、ストリーミング配信などを特徴としている。

今回、同社の Web カメラとしては初の認定製品となる。認定にあたっては、Microsoft Teams の機能と互換性を検証するため、オーディオおよびビデオの性能や品質の面において Microsoft Teams の品質基準を満たす確認テストが行われている。

マイクロソフト社にとっては、Microsoft Teams 向けデバイスの中でも中大規模会議室向けのソリューション拡充が可能となったことになるという。

Aver 社によると、今回の認定により、マイクロソフ

ト社とシームレスに連携する、直感的かつ信頼性の高い会議空間を届けることが可能になったという。今後も Microsoft Teams ユーザに高品質の会議体験を提供していくとしている。

■Zoom 社：エンドツーエンドの暗号化を追加機能なしで、無料・有料の全てのユーザーに提供

(Zoom blog : 6月17日)

Zoom 社 (<https://zoom.us/>) (米国・カリフォルニア州) は、エンドツーエンドの暗号化を追加機能なしで、無料・有料の全てのユーザーに提供することを、90日間セキュリティプランの進捗報告で発表(同社ブログ：90-Day Security Plan Progress Report: June 17、End-to-End Encryption Update)した。

現在の Enhanced Encryption による暗号化では、暗号化鍵が Zoom 社のサーバで生成され、会議の参加者に配布される仕組みとなっていた。今回発表されたエンドツーエンド暗号化では、1人の会議参加者が暗号化鍵を生成し、公開鍵暗号化を使用してこの鍵を他の参加者に配布する形になる。

従って Zoom 社のサーバがこの鍵を“認識する”ことはないという。Zoom で開催されるミーティングでやりとりされるデータは AES GCM 暗号化鍵で暗号化される。

エンドツーエンドの暗号化は、以前のバージョンの Zoom クライアントと互換性はないため、すべての参加者は会議に参加するためにエンドツーエンド (E2EE 対応) クライアントを事前にインストールしておく必要がある。

アカウントの所有者と管理者は、アカウントとグループで E2EE を有効または無効にすることができる。あるいは会議ホストは会議毎にオン/オフが可能となっている。しかし、一旦会議が始まってからは設定を変更することはできない。

なお、無料ユーザは、テキストメッセージによる電話番号の確認など、アカウントを確認するための1回限りの手続きを行う必要はある。また、会議に一般回線の電話からの参加やSIP/H.323 ビデオ会議端末からの参加がある場合は、有効/無効の設定を変えることは可能となっている。

以上の他、6月17日に発表された進捗報告では、ユーザのセキュリティを強化する目的での各種オプションも発表されている。ログイン用メール/パスワード無効化、ホワイトリストドメイン（待合室用）、参加者による注釈の無効化、全てのミュート解除、ウェビナーのQ&A管理（不適切なコメント、質問の削除等）、ユーザデータ保持（通話ログ、録音など、保持期間の設定）。

Zoom社によると、同社が提供する各種セキュリティ強化プランによって、Zoomプラットフォームでの悪用を防止することにつながるとしている。

なお、今回発表時点でのリリースは「Zoom Video webinar」（最大50,000名まで参加可能、Youtube、Facebookにも対応）では対応していない。今後のリリースにおいてE2EE機能を含める予定という。

E2EE設計プランはGitHubでリリースされ、早期β版は2020年7月に開始する予定となっている。

■Zoom社：情報セキュリティ最高責任者に、Salesforce やマイクロソフトにおいてセキュリティ運用で実績のある Jason Lee 氏を任命

（Zoom blog：6月24日）

Zoom社 (<https://zoom.us/>)（米国・カリフォルニア州）は、情報セキュリティ最高責任者として、Jason Lee氏を任命したことを発表した。6月29日より正式に就任する。

Jason Lee氏は、直近では、Salesforce社のセキュリティ運用担当シニアバイスプレジデント、それ以前で

はマイクロソフト社のセキュリティエンジニアリング担当主任ディレクターを務めるなど、20年におよぶ経験で培った情報セキュリティやミッションクリティカルなサービスの運用に関する専門知識を生かした手腕が期待されている。Zoom社のセキュリティチームを統括し、最高執行責任者Aparna Bawa氏の直属となる。

Zoom社の90日セキュリティおよびプライバシープランが最終段階に近づいている。同社にとってセキュリティは最優先課題であり、同社の事業の核となるもの。Lee氏は、ストレスフリーの使いやすいプラットフォームのセキュリティを確保することで、ユーザのセキュリティとプライバシーを最優先するZoom社の方針を継続し、「セキュリティの概念を同社のDNAに浸透させていく。」と抱負を述べる。

サービス等無償提供発表企業

コロナウイルスの影響からテレワークや在宅勤務を行う企業などが増えています。そういった企業などを支援する目的で遠隔会議・ユニファイドコミュニケーション提供会社がサービスなど無償提供を行う動きがとくに2、3月に入ってから活発になっています。

ここでは、CNAレポート・ジャパンが3月15日現在（その後3月31日も追加しています）把握した、無償提供もしくは機能拡張などのプレスリリースを行った提供会社の名前とURL（ホームページもしくは当該ページ）を掲載します。各社期間限定となっています。詳細は各社ホームページまたは直接お問い合わせください。皆様のご参考になればと思います。（順不同）

- 経産省（学びを止めない未来の教室、Zoom教育関係）：
https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/zoom/
- ライフサイズ社（クラウドサービス）
<https://pages.get.lifesize.com/remote-work-with-lifesize/>

- インタビューメーカー（Web 面接）
<https://interview-maker.jp/>
- ドコモシステムズ（Web 会議 sMeeting）
<https://ddreams.docomo-sys.co.jp/smeeting/>
- RSUPPORT(Web 会議 RemoteMeeting など)
<https://www.rsupport.com/ja-jp/>
- DialPad(クラウド PBX)
<https://www.dialpad.co.jp/>
- アバー・インフォメーション（デモ機など無償貸出し）
<https://jp.aver.com/>
- ブイキューブ（V-CUBE ミーティング、営業、教育、医療機関など）
<https://jp.vcube.com/>
- ベルフェイス（営業特化 Web 会議）
<https://bell-face.com/>
- プリンストン（クラウド会議サービス BlueJeans）
<https://www.princeton.co.jp/news/2020/03/202003101100.html>
- AloT クラウド（Web 会議）
<https://www.aiotcloud.co.jp/>
- ポリグロットリンク（遠隔通訳サービス、学校向け）
<https://polyglot-link.co.jp/>
- ギンガシステム（LoopGate for PC/Tablet）
<https://ginga-sys.jp/>
- シスコシステムズ（Web 会議 Webex）
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/webex/90days.html
- ネオキャリア（Web 会議 Calling）
<https://www.calling.fun/>
- meet in（Web 会議ミーティング、教育向け）
<https://meet-in.jp/>
- マルジュ（Web 面接 SOKUMEN）
<https://www.maru.jp/sokumen/>
- トラストバンク（自治体専用チャット LoGo）
<https://www.trustbank.co.jp/>
- ビジョン（ビジネス向け SNS ツール JANDI）
<https://vws-biz.com/jandi/>
- StarLeaf/メディアプラス
<https://www.starleaf.jp/>
- 日本アバイア（Avaya Spaces、教育機関・非営利）
（在宅コンタクトセンター）
<https://www.avaya.com/jp/>

- シャープマーケティング（TeleOffice）
<https://www.ideep.com/>
- DMM 英会話（Bellbird ビデオ通話サービス）
<https://eikaiwa.dmm.com/app/meeting>
- Vonage（Vonage Free Conferencing）
<https://freeconferencing.vonage.com/>
- ロゼッタ（遠隔会議上音声翻訳ツール）
<https://www.jukkou.com/lp/onyaku.html>
- ニューロネット（Web 会議 SaasBoard）
<https://www.neuronet.co.jp/>
- 岩崎通信機（Web 会議 Waarp）
<https://www.iwatsu.co.jp/waarp/>

*6 月 30 日現在で無償提供を終了しているところもあるかもしれません。個別にご確認ください。

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■共催 Webinar①:Web 会議ツールを使用する上での「セキュリティリスク」って？ 安全なテレワークのために知っておくべきこと

日時：7月2日 11:00～12:00

会場：オンラインセミナー

主催：トレンドマイクロ株式会社・Zoom 社

詳細・申込：

https://success.zoom.us/webinar/register/WN_Jfi8qhx9TsGQ03BhZAQgdw

※全2回開催の1回目。

■Web セミナー：ライブビデオで医療現場を革新

日時：7月8日（水）14:00 ～ *日本語同時通訳

会場：オンラインセミナー

主催：Vonage

詳細・申込：

https://ww3.nexmo.com/Japan_Healthcare_Webinar_Vonage

■「POLYとMICROSOFTで実現する未来のワークスタイル」

日時：7月9日（木）14:00～

会場：オンライン セミナー

主催：ポリコムジャパン株式会社、日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：https://connect.poly.com/APAC-JPN-MSFTPolyRoadshow--JA_LP.html

■ブイキューブセミナー情報（7月～8月）

「いまさら聞けない Web 会議とテレビ会議の違い 選び方徹底解説セミナー」、「オフィスの「会議室足りない問題」に。スマートワークブース「テレキューブ」体験会」、「テレワーク環境をスムーズに整える秘訣とは？～安心してテレワークするための IT ツールガイド～」 など

会場：（Web セミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2020年6月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp